

報道機関各位

熊本大学

熊本大学医学部医学科の入試制度が変わります

熊本大学医学部医学科では、令和4年度入学者選抜より、学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）において、新たな入試区分として「熊本みらい医療枠」（募集人員10人）を設定いたします。また、このことに伴い、各選抜区分の募集人員を下記のとおり変更します。

その背景や趣旨については、別紙をご参照ください。

なお、これらの変更について、高等学校関係者へ広く周知し理解を深めていただけるよう、3月下旬に高等学校等の進路指導担当教員等を対象とした説明会を開催する予定です。

広く一般の方へお知らせいただきますようよろしくお願いいたします。

記

【医学部医学科における入学定員等】

年度	令和3年度入試 (令和2年度に実施)		令和4年度入試 (令和3年度に実施)	
入試区分	一般選抜 (前期日程)	学校推薦型 選抜Ⅱ (大学入学共通 テストを課す)	一般選抜 (前期日程)	学校推薦型 選抜Ⅱ (大学入学共通 テストを課す)
入学定員	110人		110人(予定)*1	
募集人員	<u>90</u> 人	<u>20</u> 人 (内訳) ・一般枠 <u>15</u> 人 ・地域枠 <u>5</u> 人	<u>87</u> 人(予定)	<u>23</u> 人(予定) (内訳) ・一般枠 <u>5</u> 人 ・熊本みらい医療枠 <u>10</u> 人 ・地域枠 <u>8</u> 人

*1 令和4年度の入学定員については、文部科学省、厚生労働省から、「医療従事者の需給に関する検討会医師需給分科会」における議論を踏まえて、暫定的に令和2・3年度と同様の方法で設定し、臨時定員が維持される方針であることが通知されており、本学においても入学定員5人の臨時定員を維持することを計画しております。

今後、文部科学省大学設置・学校法人審議会での審議を経て、臨時定員の維持が認められた場合は、令和4年度の入学定員（募集人員）は令和2・3年度に引き続き110人となる予定です。

【お問い合わせ先】

熊本大学医薬保健学系事務課

医学事務チーム教務担当

担当：松崎

TEL：096-373-5027

熊本大学医学部医学科学学校推薦型選抜Ⅱにおける
「熊本みらい医療枠」の導入及び「地域枠」の増員について

背景

- ① 熊本県全体の医師数は全国平均を上回っていますが、その実情は、県内の地域によって医師の偏在が著しく、しかも医師が少ない地域の医師は、高齢化が進行している傾向が見られます。このような状況を踏まえ、2020年3月に策定された熊本県医師確保計画においては、本学病院、県医師会、関係医療機関及び県が連携し、「オール熊本で医師を育て地域を支える」を基本方針に掲げ、地域に定着する医師を増やすことを目指しています。
- ② これまで本学においては、熊本県医師修学資金の貸与を受け、卒業後の一定期間、知事が指定する地域（僻地）の病院で勤務することを条件とした「地域枠」（定員5人）を導入するとともに、地域枠以外の入試制度による入学者を対象として、熊本県医師修学資金貸与者の募集（募集人員5人）を行ってきました。しかしながら、この制度への応募が少なく、2019年度に募集が停止されたことから、将来、地域医療を担う医師が不足することが懸念されています。
- ③ 本学では医学研究を志す者を増やすことに力を入れており、本学大学院への進学率を高め、若手医学研究者及びリサーチマインドに富む臨床医を育成したいと考えています。

これらの背景を踏まえ、以下の趣旨に基づき、医学部医学科の入試制度を変更いたしました。

趣旨

- これまでの「地域枠」の定員を8人に増員するとともに、新たに、出願資格を熊本県出身者に限定し、かつ、卒業後の進路条件を緩やか（勤務する地域病院の選択肢を拡大）にするなど、多様性のある「熊本みらい医療枠」を導入することで、引き続き熊本県に定着し、地域医療を担う人材の確保に貢献します。
- 将来医学研究者及びリサーチマインドに富む臨床医を目指す医師を育成する観点から、「熊本みらい医療枠」入学者の卒業後の進路条件の選択肢に「本学大学院への進学」を加えることにより、熊本の未来の医療や臨床医学研究を推進・牽引する人材の育成を図ります。